

NUHW
SPORT Magazine 008

過去から未来に繋ぐ



過去から未来に繋ぐ

強化指定クラブ 陸上競技部

文章：Jun Nagahata
Shoma Yuki

現在の陸上競技部

近年、目覚ましい活躍を見せる本学陸上競技部(以下、陸上部)。2003年に誕生した陸上部だが、当初は長距離ブロックのみが強化指定され、部員数も数十名であった。いわゆる典型的な地方大学のクラブであったのが、十数年で150名を超える大所帯に変貌した。昨年度(2017年度)の実績をみても、日本最高峰の大会である日本選手権で2名が入賞し、学生の頂点を決める日本学生陸上競技対校選手権大会(通称:インカレ)では、リレーを含む計7種目で入賞を記録した。また、7月に開催された北日本の大学の頂点を決める北日本学生陸上競技対校選手権(通称:北日本インカレ)では男子9種目、女子5種目の合計14種目での優勝という輝かしい成績を残している。このように、地方の大学としてはすでに強豪に位置付けられるまでに登りつめており、全国的にも名前が知られてきた。

しかし、創部当初を知る人に話を聞くと、今の活躍は想像できなかったと口を揃えて言う。そこで今回は、陸上部の創部から今に注目し、どのようにして築き上げられてきた歴史に迫ってみたい。



#1 立ち上げ



創部当初、指導していたのは山崎史恵先生(健康スポーツ学科・教授)。山崎先生は強豪の筑波大学陸上競技部で選手として活躍していたこともあり、自身の経験をもとにして運営のノウハウなどを学生たちに教えていった。先輩・後輩もいないゼロからのスタート。何もかも整っていない状態で、練習場所も練習道具も充実していなかったため、様々な工夫をしながら活動をしていた。先生も学生たちと共に試行錯誤し、

#2 指導理念

一緒になって部を創っていったと説明してくれた。ポイントにしたのは、次の指導者への橋渡しができるように部の基礎を作ること。将来を見据えて選手たちだけで全ての運営ができるように、徐々にカタチを作っていくように指導したという。

「大学の歴史が浅いため、陸上部の歴史も浅いのは仕方ない」と前部長の丸山敦夫先生(健康スポーツ学科・前教授)は言う。歴史がない分、先輩・後輩のケジメがなく意思の伝達も上手くできていない部分は否めない。ただ、山崎先生から始まり、前監督の三宮博巳先生(健康スポーツ学科・前教授)や丸山先生たちの指導陣は、主役の学生たちをサポートし、選手の個性や能力をどのように引き出すかという考えを大切にしてきた。実際、練習メニューは選手自身が考え、各々の目標に挑戦している。選手たちに聞くと、「窮屈な思いをせずに練習ができています」と言うように、指導者の意図が確実に伝わっていることがわかる。確固たる指導理念が選手達にも確実に浸透しており、その結果、主体性を持った意識の高い選手が生まれている。やはり、トップ選手が集まる日本選手権や日本インカレで活躍するためには、競技力の核となる自分で考えて行動できる“主体性”が必要なのだろう。

#3 地方からの挑戦

陸上競技に限ったことではないが、大学スポーツの流れとして、大学でも競技スポーツを続けようとする選手は、関東の大学や都市部の大きな大学に進むことが多い。そのため、レベルの高い選手が自然と集まることになり、選手層も厚くなる。それがクラブの強さとなっていく。残念ながら地方大学である新潟医療福祉大学、選手層がなかなか厚くならないのは仕方ない。しかし、陸上部はそれを逆手にとって頑張っている。選手が少ないからこそ、指導者は一人ひとりに時間をかけて指導することができるのである。選手たちの中には、“地方でもできる、新潟の地でもできる”という自信が、少しずつだが芽生えている。実績にも表れており、2017年度に健康スポーツ学科を卒業した前山美優さん(アルビレックスRC所属)は、学生チャンピオンに登り詰めた。切磋琢磨してきたチームメイトの活躍が周囲の選手にも波及し、相乗効果を生んでいる。全国で活躍する選手は年々増えており、今年度も大勢輩出されることが期待される。



チーム紹介

創部15年目、部員数150名。近年は、女子短距離を筆頭に、他種目で全国レベルの選手を輩出している。主な卒業生は、女子走幅跳の永井佳織さん(健康スポーツ学科2013年度卒)や女子短距離の前山美優さん(健康スポーツ学科2017年度卒)。指導陣は、投擲ブロックコーチの小林志郎監督(健康スポーツ学科・講師)、短距離ブロックの山代幸哉コーチ(同学科・准教授)、中・長距離と跳躍を担当する泉田俊幸コーチ(同学科・准教授)、女子長距離を指導する森安彦コーチの4名体制。



#4 組織は生き物

陸上部という組織は、出身、競技レベル、種目等々、様々な学生を受け入れる。そのため、学生、指導者、環境、全ての歯車が噛み合わなければ良い方向には進まない。そう考えると、学生と指導者は、単純に指導を受ける側と指導する側という単純な図式ではなく、パートナーとも言える。また、選手は入部して4年間を経て卒業する、指導者も入れ替わっていく、変化が伴うものである。陸上部は無理な成長をせず、だからといって低迷せず、細胞のように良いペースで増殖し続けてきたと言えるのかもしれない。

近年目覚ましい躍進を見せる陸上部。その裏には“自分で考え、そして考えることを楽しむ”という創部から受け継がれてきた“歴史”を感じた。同時に、同じ大学に通う学生の頑張りから、何事にも共通する成長の秘訣なのだろうと教えてもらった。今後も陸上部の活躍に注目していきたい。

大学人

本学には多くの学生が全国から集まり、自己実現のために日々努力している。しかし、努力を重ねているのは学生だけではない。私たちのキャンパスライフを支える教職員も同様だ。「大学人」では、教職員にスポットを当て、これまでの経験や経歴を紹介しながら、生き方に迫る企画である。

文章：Takuto Abe
Katsuyuki Akutsu



©NIIGATA ALBIREX BB RABBITS/WJBL

今

回、お話を伺ったのは、入試広報課の山澤恵さん。山澤さんは小学校からバスケットボールをはじめ、新潟中央高校時代には全国大会に出場、華やかな成績を残している。高校卒業後は、新潟アルビレックスBBラビッツに入団。現在、バスケットボール選手として活躍する傍ら、学生募集などの入試広報課の仕事にも従事している。

山澤さんの思い

山澤さんは、小学校から高校卒業まで「バスケット」と「勉強」の両立に努めてきた。その努力が実り、高校卒業時には強豪大学から複数オファーがあった。しかし、大学を経由せずに、国内トップレベル（女子の国内トップリーグ）でバスケットをしたいという思いが決め手になり、新潟アルビレックスBBラビッツへ入団したのであった。

現在、勉強が仕事に入れ替わったが、両立するものが単に変わったただけではなく、目に見えない大きな変化も自身で感じている。仕事の責任である。勉強は自分自身の責任だが、仕事ではそうはいかない。この変化に苦労をしながらも、入試広報課の業務を3年ほど経験して、自分なりに仕事もモノに出来てきており、やりがいを感じていると話してくれた。



©NIIGATA ALBIREX BB RABBITS/WJBL



年齢的には私たちと変わらない山澤さん。「選手」として「社会人」としての山澤さんの姿から、私たちは学ぶことが多いはずだ。そんな私たちへのメッセージとして、「決して良い環境で活動できている訳ではないけど、限られた時間の中で練習して、強豪チームを倒そうと頑張っています。是非とも会場に足を運んでもらって、私たちの背中を押してもらいたいです。それが頑張る活力になります。応援あってこそそのラビッツなので、応援してもらえたら嬉しいですよ。」と語ってくれた。仕事柄、私たちと関わる機会がほとんどない。大学での仕事する姿を見たり食堂で見かけたら、積極的に挨拶してもらいたい。そして、試合会場に脚を運び、選手として活躍する彼女の姿も見てもらいたい。「バスケット」と「仕事」を両立する彼女の姿は、私たちの学生生活に活力をもたらしてくれるはずだ。

編集後記

今回の取材を通して「自分自身、やりたいことに向き合えているか？」と自問自答した。何か物事を選択するときには迷いが生じるが、そのときに自分がやりたいことに素直になれているかが大切だと考えさせられた。山澤さん自身、これまで様々なターニングポイントで迷いもあったと思うが、自身がやりたいことに対して実直な選択をしてきたのだろうと感じた。この記事を通して、読者の皆さんには、やりたいことに向き合うきっかけとしてもらえれば良いと思う。



Megumi Yamazawa
山澤 恵

ポジション ガード
身長/体重 162cm/56kg
生年月日 1996年6月14日
出身 新潟県
コートネーム ナル
プレー歴 松浜ワイルドキャッツ↓山ノ下中
↓新潟中央高↓新潟アルビレックスBBラビッツ15歳で、18歳19シーズンで4シーズン目をむかえる。

新潟アルビレックスBBラビッツ

女子バスケットボールトップリーグ（Wリーグ）では初となる地域密着型チームとして、2011年4月に誕生。前身は、1967年創設の古豪JALラビッツ。

チーム運営は一般社団法人新潟アルビレックス女子バスケットボールクラブで、17-18シーズンから阿賀野市の水原総合体育館を練習拠点としている。

NUHW SPORT 応援 SCHEDULE

| クラブ名 | 日程 | 大会名 | 場所 |
|------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|
| 水泳部 | 6月30日(土)~7月1日(日) | 中部学生選手権 | スポーツの杜鈴鹿(三重) |
| | 9月1日(土)~2日(日) | 日本社会人選手権 | ダイエープロビスフェニックスプール(長岡) |
| | 9月5日(水)~9日(日) | 日本インカレ | 横浜国際プール(神奈川) |
| | 9月11日(火)~12日(水) | 国体(OWS) | 若狭湾(福井) |
| | 9月15日(土)~17日(月) | 国体(競泳) | 敦賀市市営プール(福井) |
| | 9月21日(金)~23日(日) | 日本選手権(OWS) | 北条海岸(千葉) |
| | 11月8日(木)~11日(日) | FINAスイミングワールドカップ東京大会 | 辰巳国際プール(東京) |
| | 陸上部 | 6月15日(金)~17日(日) | 日本学生個人選手権大会 |
| 6月22日(金)~24日(日) | | 日本選手権 | 維新みらいふスタジアム(山口) |
| 6月23日(土) | | NUHW競技会 | 本学陸上競技場 |
| 6月30日(土)~7月2日(月) | | 北日本インカレ | とうほう・みんなのスタジアム(福島) |
| 7月21日(土) | | 全日本大学駅伝北信越予選 | デンカビッグスワンスタジアム |
| 8月11日(土) | | NUHW競技会 | 本学陸上競技場 |
| 8月25日(土)~26日(日) | | 北陸選手権 | 石川西部緑地公園(石川) |
| 9月7日(金)~9日(日) | | 全日本インカレ | 等々力陸上競技場(神奈川) |
| 10月28日(日) | | 全日本大学女子駅伝 | 仙台市(宮城) |
| 10月27日(土)~28日(日) | | 日本選手権リレー | 本城陸上競技場(福岡) |
| 11月5日(日) | | 全日本大学駅伝 | 名古屋市(愛知) |
| 男子サッカー部 | 6月 | 総理大臣杯北信越大会 | 北信越各地 |
| | 6月~9月 | 新潟県サッカーリーグ1部 | 県内各地 |
| | 7月~8月 | 北信越大学リーグ(前期) | 北信越各地 |
| | 8月 | 総理大臣杯 | 関西各地 |
| | 9月~11月 | インディペンデンスリーグ北信越地区 | 北信越各地 |
| | 9月~11月 | 北信越大学リーグ(後期) | 北信越各地 |
| | 12月 | 全日本インカレ | 関東各地 |
| 女子サッカー部 | 6月~7月 | チャレンジリーグ | 全国各地 |
| | 6月~7月 | 北信越リーグ | 北信越各地 |
| | 8月 | 北信越国体 | 北信越各地 |
| | 9月 | 全日本選手権北信越予選 | 北信越各地 |
| | 10月~11月 | 全日本インカレ北信越予選 | 北信越各地 |
| | 10月~12月 | 全日本選手権 | 全国各地 |
| | 12月~1月 | 全日本インカレ | 兵庫、東京 |
| 女子バレーボール | 6月10日(日) | 国体県予選 | 本学体育館 |
| | 6月21日(木)~24日(日) | 東日本インカレ | 東京 |
| | 7月1日(日) | 皇后杯県予選 | 長岡 |
| | 7月14日(土)~16日(月) | 中部日本総合選手権 | 福井 |
| | 8月 | 北信越国体 | 小千谷 |
| | 10月 | 皇后杯北信越予選 | 長野 |
| | 10月26日(金)~28日(日) | 北信越大学選手権(秋季) | 富山 |
| | 11月27日(月)~12月3日(日) | 全日本インカレ | 東京 |
| | 12月 | 皇后杯 | 東京 |
| | 男子バレーボール | 11月3日(土)~4日(日) | 北信越大学選手権(秋季) |
| ハンドボール部 | 8月31日(金)~9月2日(日) | 北信越学生リーグ戦(秋季) | 額谷ふれあい体育館(石川) |

| クラブ名 | 日程 | 大会名 | 場所 |
|------------------|------------------|-------------------------------|----------------------|
| 男子バスケットボール部 | 7月14日(土)~16日(月) | オールジャパン1次ラウンド | 秋葉区総合体育館ほか |
| | 8月31日(金)~9月2日(日) | 甲信越大学定期戦 | 市内体育館 |
| | 9月15日(土)~16日(日) | 北陸選手権 | 柏崎市総合体育館 |
| | 10月18日(木)~21日(日) | 全日本インカレ北信越予選 | 金沢市総合体育館(石川) |
| | 12月10日(月)~16日(日) | 全日本インカレ | 東京 |
| | 12月15日(土)~16日(日) | 新潟県大学大会 | 本学体育館 |
| | 女子バスケットボール部 | 7月14日(土)~16日(月) | オールジャパン1次ラウンド |
| 8月31日(金)~9月2日(日) | | 甲信越大学定期戦 | 市内体育館 |
| 9月15日(土)~16日(日) | | 北陸選手権 | 柏崎市総合体育館 |
| 10月18日(木)~21日(日) | | 全日本インカレ北信越予選 | 金沢市総合体育館(石川) |
| 12月10日(月)~16日(日) | | 全日本インカレ | 東京 |
| 12月15日(土)~16日(日) | | 新潟県大学大会 | 本学体育館 |
| 硬式野球部 | | 6月 | 関甲新リーグ新人戦 |
| | 9月~10月 | 関甲新リーグ(秋季) | 各大学野球場 |
| ダンス部 | 8月7日(火)~10日(金) | All Japan Dance Festival KOBE | 神戸文化ホール |
| | 9月16日(日) | Artistic Movement in TOYAMA | 高岡市ふくおか総合文化センター(富山) |
| | 12月8日(土)~9日(日) | 秋田全国モダンダンスコンクール | 秋田市文化会館 |
| | 2月10日(土)~11日(日) | ダンスコンペティションin仙台 | 多賀城市文化センター(宮城) |
| | 3月9日(土) | ダンス部公演 | 北区文化会館 |
| よさこい部 | 9月15日(土)~17日(月) | にいがた総おどり | 万代・古町周辺 |
| | 10月6日(土)~7日(日) | 伍桃祭 | 本学 |
| 軟式野球部 | 8月19日(日)~26日(日) | 全日本インカレ | 長野県 |
| | 9月~10月 | 東日本インカレ県予選 | 新潟市内各野球場 |
| | 11月 | 東日本インカレ | 東京 |
| バドミントン部 | 8月 | 北信越学生選手権 | 未定 |
| | 12月 | 北信越学生新人選手権 | 未定 |
| 硬式テニス部 | 8月21日(火)~25日(土) | 北信越学生テニス選手権予選 | 金沢市内各コート(石川) |
| | 8月27日(月)~29日(水) | 全日本大学対抗北信越予選 | 金沢市内各コート(石川) |
| | 9月3日(月)~8日(土) | 北信越学生テニス選手権 | テニスガーデン新潟、新潟大学テニスコート |
| | 11月9日(金)~11日(日) | 北信越学生室内テニス選手権 | 能登(石川) |
| アルティメット | 6月23日(土)~24日(日) | UNGカップ関東大会 | ひたちなか市新光町グラウンド(茨城) |
| | 12月8日(土)~9日(日) | 2018 VC ULTIMATEミックス選手権 | 鹿島ハイツスポーツプラザ(茨城) |
| | 1月19日(土)~20日(日) | 2019 Boon ヤングスターカップ | 富士川緑地公園(静岡) |
| 剣道部 | 7月7日(土)~8日(日) | 全日本学生剣道選手権・全日本女子学生剣道選手権 | 日本武道館(東京) |
| | 9月9日(日) | 北信越学生剣道(団体) | 福井県立武道館 |
| | 10月28日(日) | 全日本学生剣道(団体) | 大阪市中央体育館 |
| | 11月11日(日) | 全日本女子学生(団体) | 春日井市総合体育館(愛知) |
| | 11月24日(土) | 北信越学生新人大会 | 富山市総合体育館 |
| | 12月15日(土)~16日(日) | 全日本学生剣道オープン | いしかわ総合スポーツセンター(石川) |

